



# どうなんだより

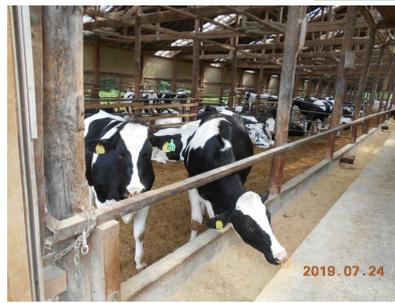
## 令和元年夏号

### (有限会社) 斉藤農場

～ 畑作・畜産の大規模複合経営 ～

### 地域を担う

## 農地所有適格法人の横顔



所在地：厚沢部町  
代表者：斉藤 克也  
設立：平成18年  
構成員：5名  
パート：10名  
事業内容：畜産・畑作・野菜  
作付面積：124ha

平成18年、関係機関の勧めや研修会などで興味を持ち、今後更なる規模拡大が想定されることから、税理士に相談後、個人法人を設立。構成員は後継者を含め5名で、パートは15名（うち外国人技能実習生2名）。町内でも大規模経営体に分類され、経営の中心が畑作と畜産（肉牛）同規模ということが特徴的。離農跡地の集積先となるなど、地域からの期待は大きい。

### 法人経営のメリット

(1)農地の集積、機械・施設拡充、人材確保により、スケールメリットを生かした農業経営が可能となる。(2)従業員の待遇向上により、有能な構成員を確保し、その得意分野を任せられる。

### 法人運営のポイント

仲間や関係機関との会話を大切にし、積極的に研修会へ参加するなど、情報収集に努めている。また、パートを多く雇用し、勤務時間を自由にするなど、働きやすい環境づくりを心掛けている。

### これから法人化を目指す農業者へ一言

妻を大切すること。当農場では妻の得意分野が経理であり、複式簿記を行っている。また、妻は従業員やパートの融和を大切にしながら、家事全般を担うなど、重要な存在となる。

## 道南地区の農地所有適格法人数の推移

## トピックス

渡島・檜山管内の農地所有適格法人数は増加傾向にあり、平成30年には112法人となっています（北海道：3,472法人）。平成25年と比較すると23%増加しています。営農形態は「そ菜」と「畜産」が多く、6割以上を占め、複数戸法人の割合は約3割となっています。

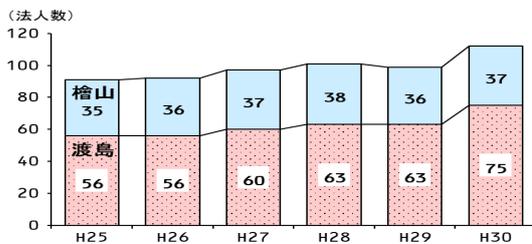


図1 渡島・檜山の農地所有適格法人の推移 (H25～30農政部調べ)



図2 渡島・檜山の農地所有適格法人営農形態 (H30渡島・檜山農務課調べ)

集落営農や農業生産法人に関するお問い合わせは、最寄りのJAまたは普及センターまで。

編集事務局(渡島農業改良普及センター)  
電話番号 0138-77-8242